



エネルギーを新しい時代へ

2022年度第2四半期連結決算について

(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。
「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。

2022年10月28日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2022/2Q(A)	2021/2Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	39,170	15,908	23,262	146.2
営業損益	▲653	1,117	▲1,770	—
経常損益	▲1,493	843	▲2,336	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲1,315	438	▲1,754	—
(参考) 期ずれ除き四半期純利益	2,316	1,348	967	71.7

連結貸借対照表

(億円)

	2022/2Q(A)	2021年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	128,644	87,221	41,422	47.5
負債	107,240	67,478	39,761	58.9
純資産	21,404	19,743	1,660	8.4
有利子負債残高	35,700	26,465	9,234	34.9
Net DER	1.66	1.18	0.48	

決算のポイント

【売上高】

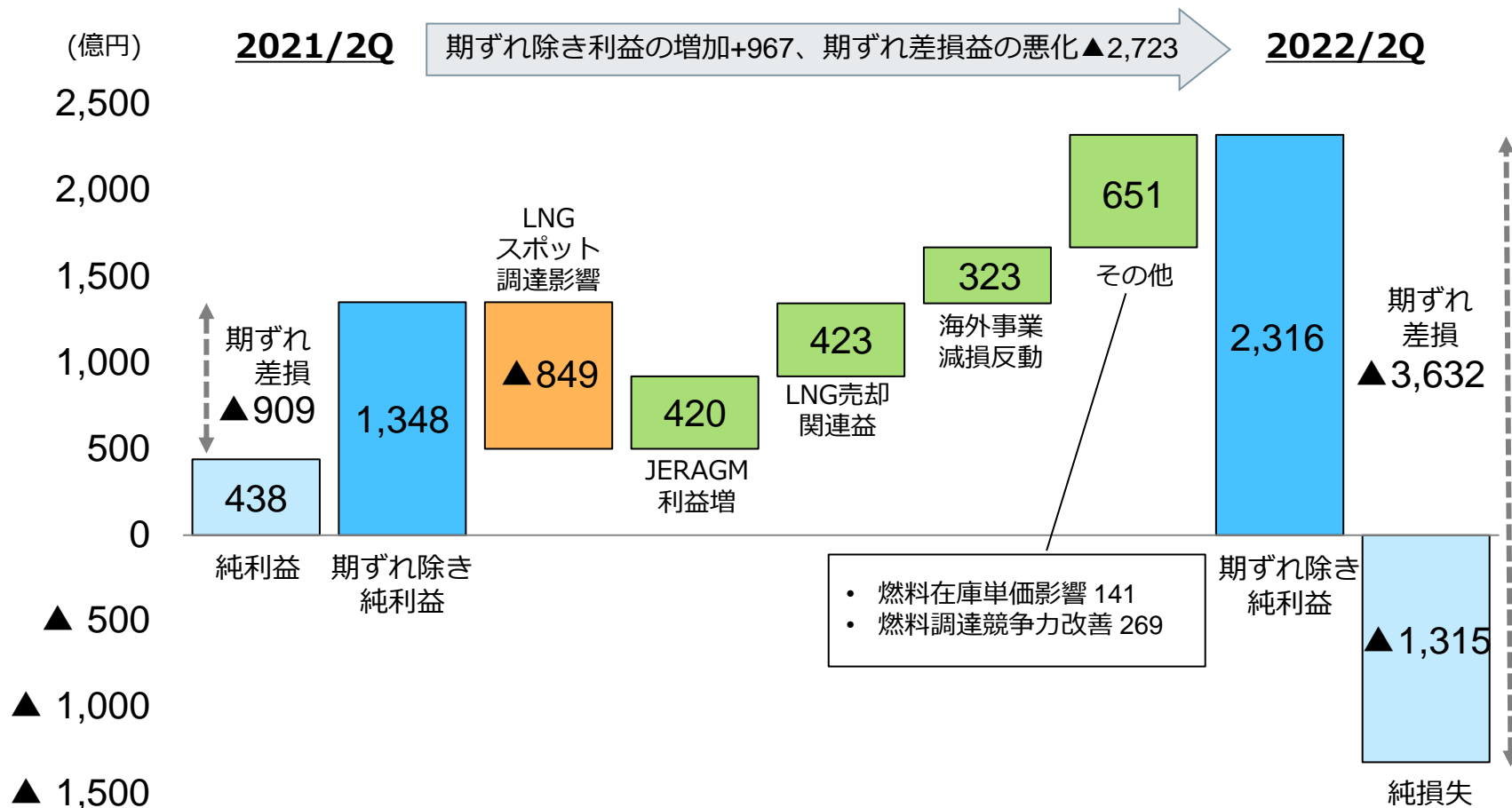
- 販売電力量の増加に加え、JERA Global Markets（以下、JERAGM）の売上増などにより、**前年同期比2兆3,262億円増（146.2%増）の3兆9,170億円**

【純損益】

- 純損益は、**前年同期438億円から▲1,754億円減益の▲1,315億円（純損失）**
 - ・ 期ずれ差損が大幅に拡大（▲2,723億円、▲909億円→▲3,632億円）
 - ・ 期ずれ除き利益は増益（+967億円、1,348億円→2,316億円）
- 期ずれ除き純利益は、LNGスポット調達の影響（▲849億円）等があったものの、JERAGMの最適化機能の活用等により増益

連結純損益の変動要因

- 純損益は、資源価格高騰により期ずれ差損が大幅拡大したことから純損失へ
- 期ずれ除き利益は、LNGスポット調達の影響等があったものの、JERAGMの最適化機能の活用等により増益



※金額は税引後

連結損益計算書

(億円)

	2022/2Q(A)	2021/2Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	39,170	15,908	23,262	<ul style="list-style-type: none"> 販売電力量の増加 JERAGM売上増
営業費用	39,824	14,791	25,033	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費の増加 JERAGM費用増
営業損益	▲653	1,117	▲1,770	
営業外収益	253	53	199	
営業外費用	1,092	327	765	<ul style="list-style-type: none"> 為替差損 +886
経常損益	▲1,493	843	▲2,336	<ul style="list-style-type: none"> 期ずれ差損益 ▲3,780(▲1,263→▲5,044) 期ずれ除き利益の増 +1,444(2,106→3,551)
法人税等	▲706	118	▲824	
非支配株主利益	529	286	242	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲1,315	438	▲1,754	

	2022/2Q(A)	2021/2Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,278	1,183	95
原油価格(JCC) (\$/b)	111.9	70.3	41.6
為替レート (円/\$)	134.0	109.8	24.2

※2022/2Qの原油価格は速報値

連結貸借対照表

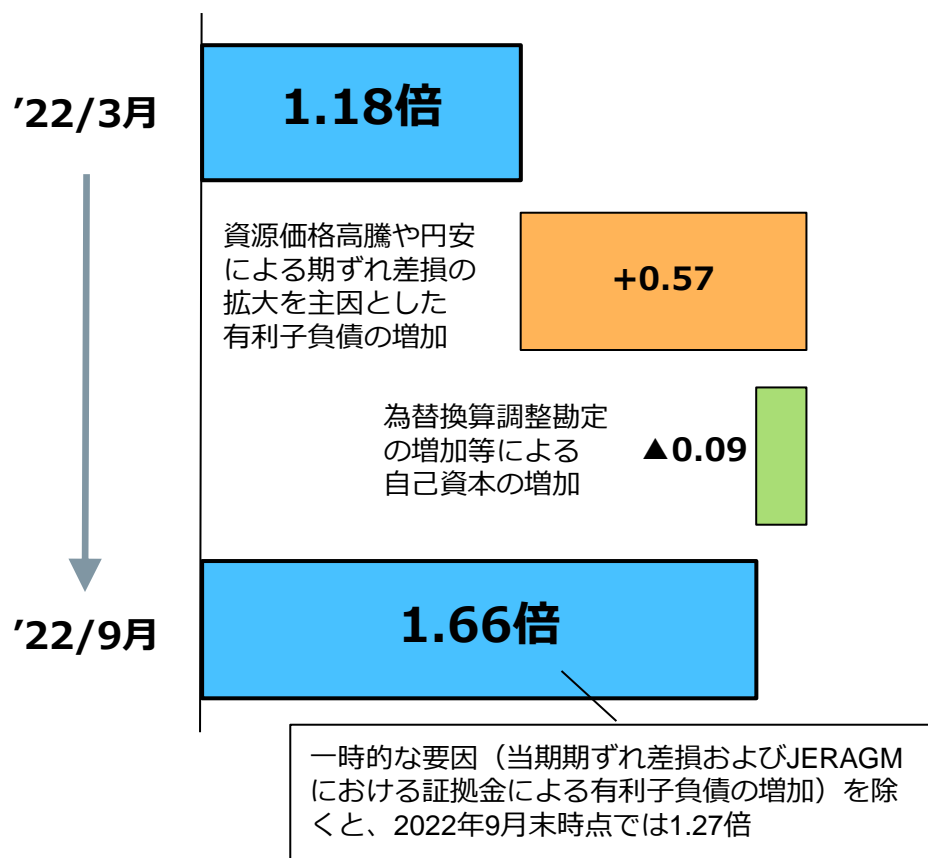
(億円)

	2022/2Q(A)	2021年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び預金	3,748	5,143	▲1,394	
有形固定資産	23,138	21,738	1,400	・国内火カリプレースの進捗等
投資有価証券	12,358	10,265	2,093	
その他	89,398	50,074	39,323	・デリバティブ債権増 (JERAGM等) +29,260
資産合計	128,644	87,221	41,422	
有利子負債	35,700	26,465	9,234	・借入金 +6,639 (子会社 +3,884) ・CP +630 ・社債 +1,965
その他	71,539	41,012	30,527	・デリバティブ債務増 (JERAGM等) +25,560
負債合計	107,240	67,478	39,761	
株主資本	14,734	16,881	▲2,146	・株主への配当 ▲831 ・四半期純損益 ▲1,315
その他	6,669	2,862	3,807	・為替換算調整勘定 +2,382
純資産合計	21,404	19,743	1,660	

経営目標（財務健全性）の状況

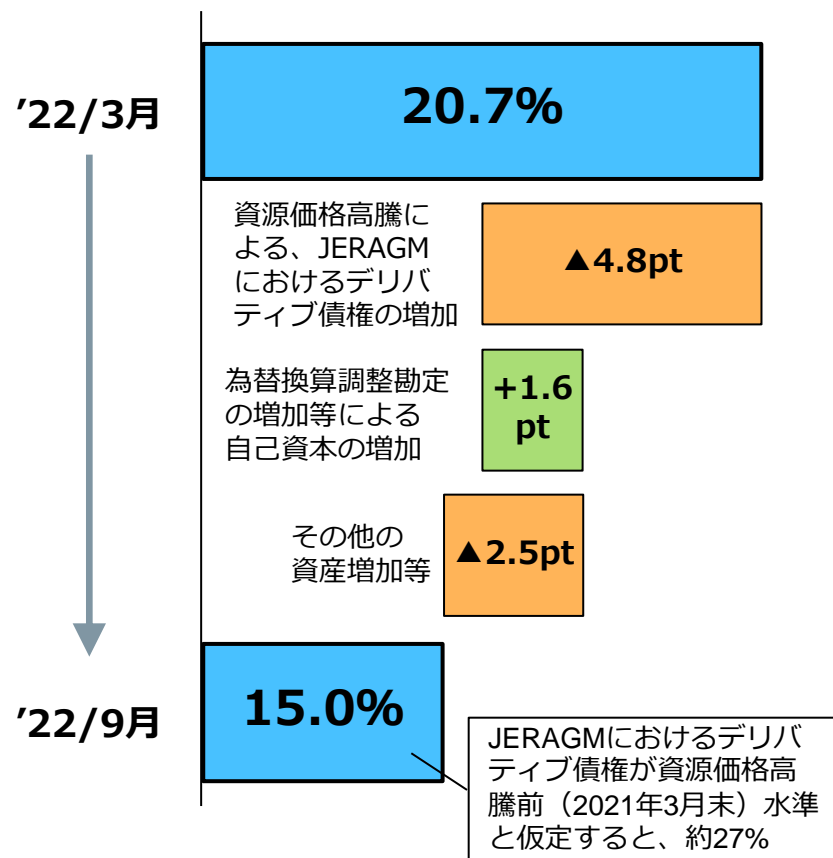
【Net DER】

- 有利子負債の増加により前期末比で悪化し、1.66倍



（参考）【自己資本比率】

- デリバティブ債権をはじめとする総資産の増加により、前期末比▲5.7ptの15.0%



資源価格高騰や円安に起因する要因が大部分であり、中長期的には改善の見通し

連結キャッシュ・フロー

- 資源価格高騰および円安を主因とする、期ずれ差損▲5,044億円、棚卸資産増加▲3,441億円、JERAGM先物証拠金増加▲800億円等により、営業キャッシュフローが大幅に悪化^(※1)
(億円)

		2022/2Q(A)	2021/2Q(B)	増減(A-B)
営業キャッシュ・フロー		▲6,915	▲128	▲6,786
投資キャッシュ・フロー	固定資産の取得	▲2,137	▲1,909	▲228
	投資有価証券の取得	▲95	▲9	▲86
	その他	▲13	▲368	355
		▲2,246	▲2,286	40
フリー・キャッシュ・フロー		▲9,162	▲2,415	▲6,746
財務キャッシュ・フロー	有利子負債の増減額	8,365	1,593	6,771
	配当金の支払額 ^{※2}	▲831	▲334	▲497
	その他	▲195	▲120	▲74
		7,339	1,139	6,200
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）		▲1,319	▲1,200	▲118

※1 金額は当2Qキャッシュ・フローへの影響額

※2 非支配株主への配当金の支払額を除く

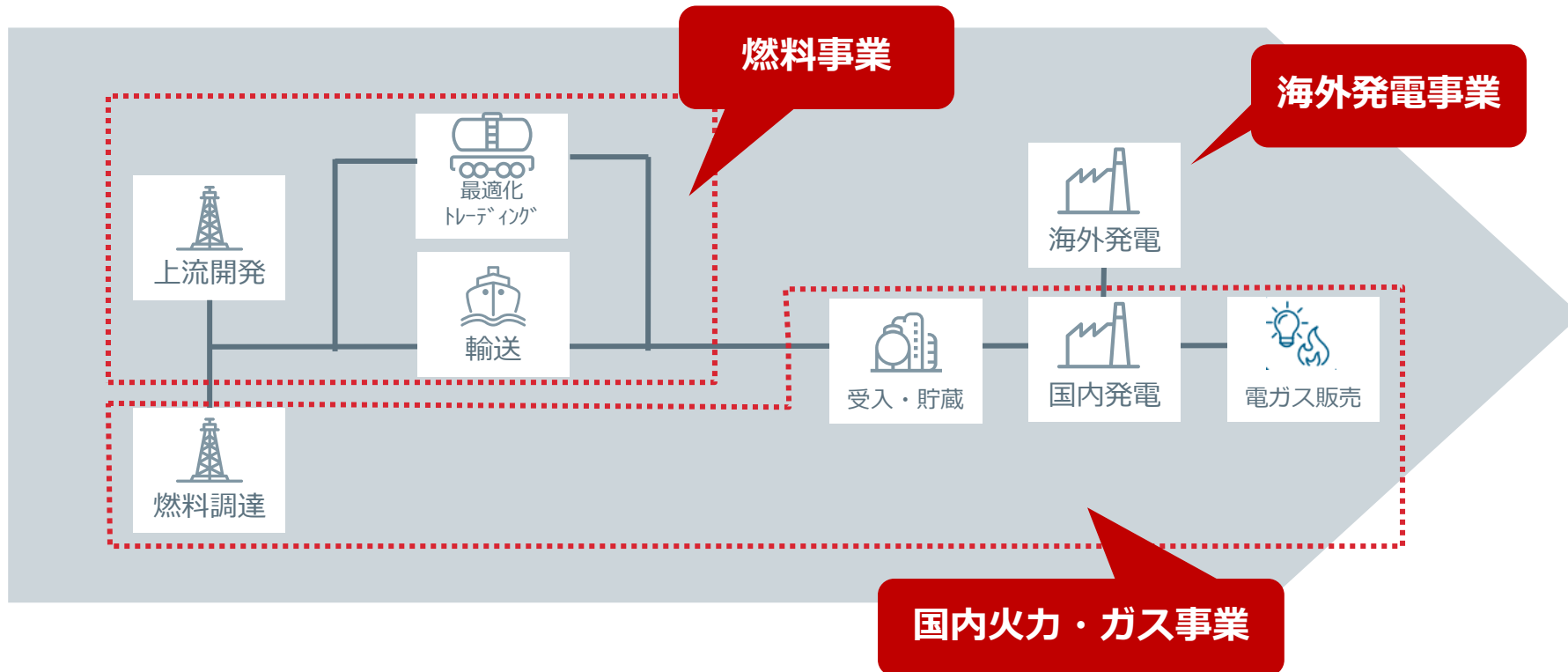
(億円)

	2022/2Q(A)		2021/2Q(B)		増減(A-B)		主な純損益(期ずれ除き) 増減要因
	売上高	純損益 (期ずれ除き)	売上高	純損益 (期ずれ除き)	売上高	純損益 (期ずれ除き)	
燃料事業※	29,503	1,208	9,564	892	19,938	316	<ul style="list-style-type: none"> •JERAGM利益増 +420 •2021北米ガス取引における寒波影響反動 ▲84
海外発電事業	22	▲20	15	▲330	7	309	<ul style="list-style-type: none"> •2021フォルモサ2減損損失反動 +323 •海外火力IPP増益 +9
国内火力・ガス事業	26,889	▲2,036 (1,596)	11,889	170 (1,080)	14,999	▲2,206 (515)	<ul style="list-style-type: none"> •LNGスポット調達影響 ▲849 •LNG売却関連益 +423 •燃料調達競争力改善 +269 •燃料在庫単価影響 +141
調整額	▲17,243	▲467	▲5,560	▲293	▲11,683	▲174	
連結財務諸表計上額	39,170	▲1,315 (2,316)	15,908	438 (1,348)	23,262	▲1,754 (967)	

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

(参考) バリューチェーンとセグメント区分

- 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有。
- セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業等への投資を行う「海外発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分している。



2022年度業績見通し

【業績見通し】

- フリーポートLNG基地における火災影響▲1,100億円程度および期ずれ差損増加等を見込み、純損益は▲2,000億円（期ずれを除いた純利益は1,000億円）の見通し。
- 今後の燃料市況や必要燃料調達数量の変動等により、収支が大きく変動する可能性がある。

(億円)

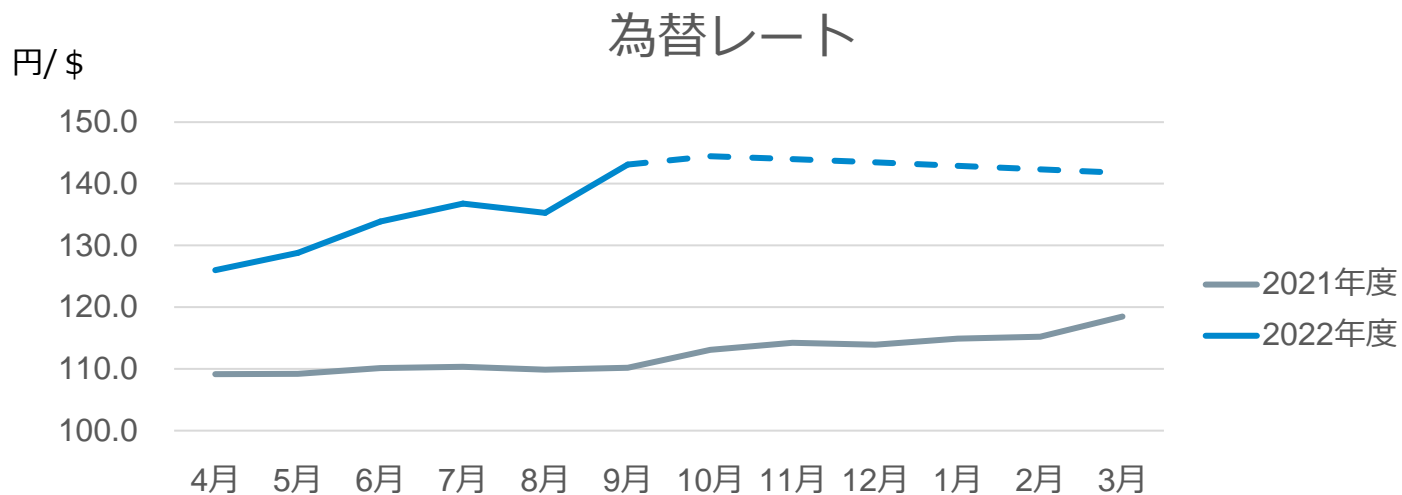
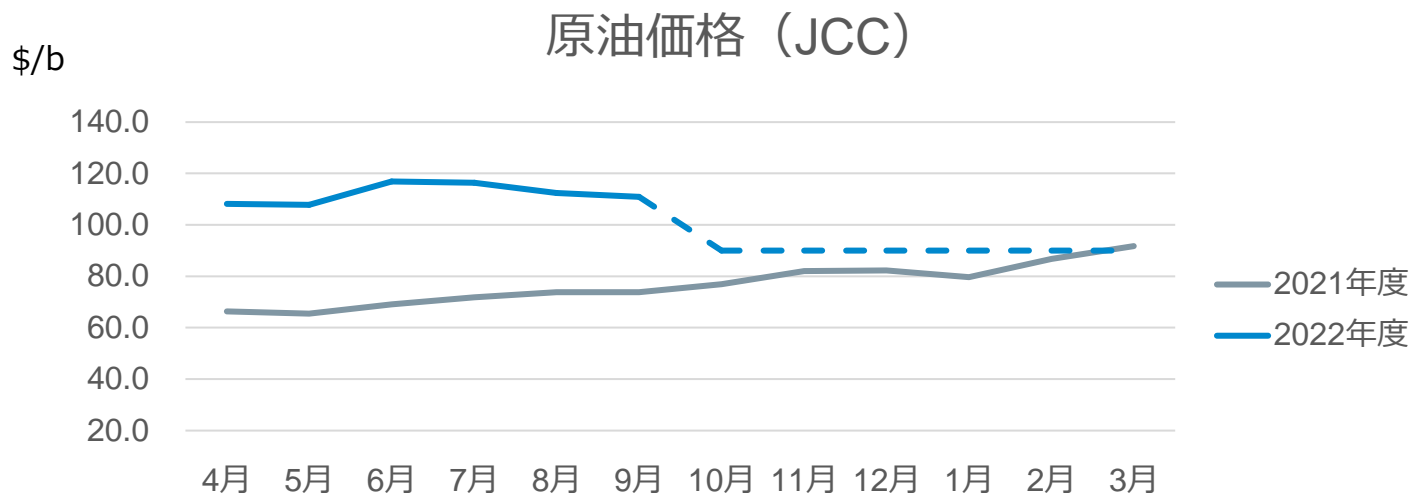
	2022年度予想 (A)	2021年度実績 (B)	増減(A-B)	増減率(%)
純損益	▲2,000	246	▲2,246程度	-
(内訳)期ずれ差損益	▲3,000	▲2,524	▲476程度	-
期ずれ除き利益	1,000	2,770	▲1,770程度	▲63.9

【主要諸元】

	2022年度予想	2021年度実績
原油価格(JCC) (\$/b)	101程度	77.1
為替レート (円/\$)	139程度	112.4

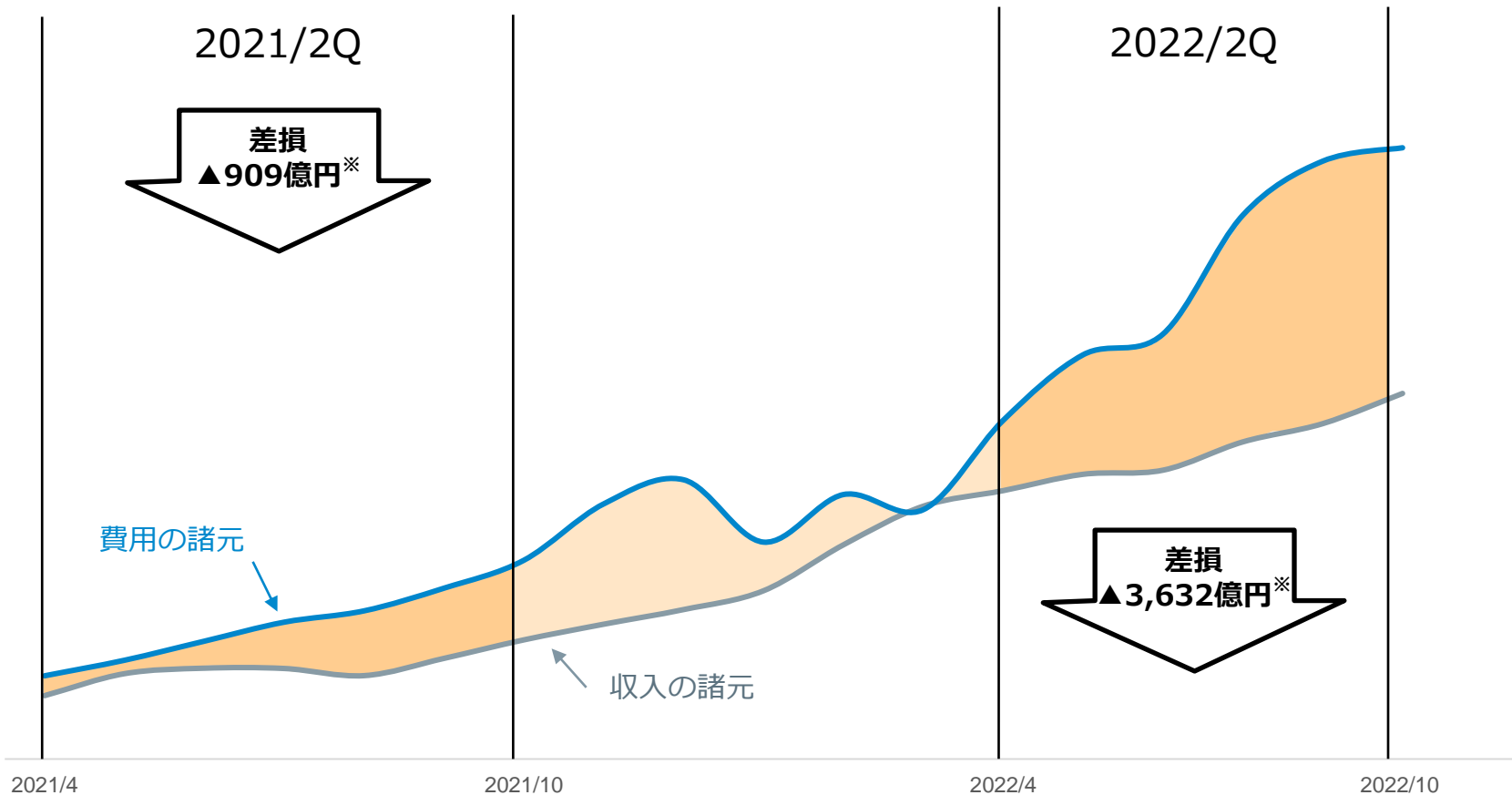
参考情報

原油価格・為替レート推移



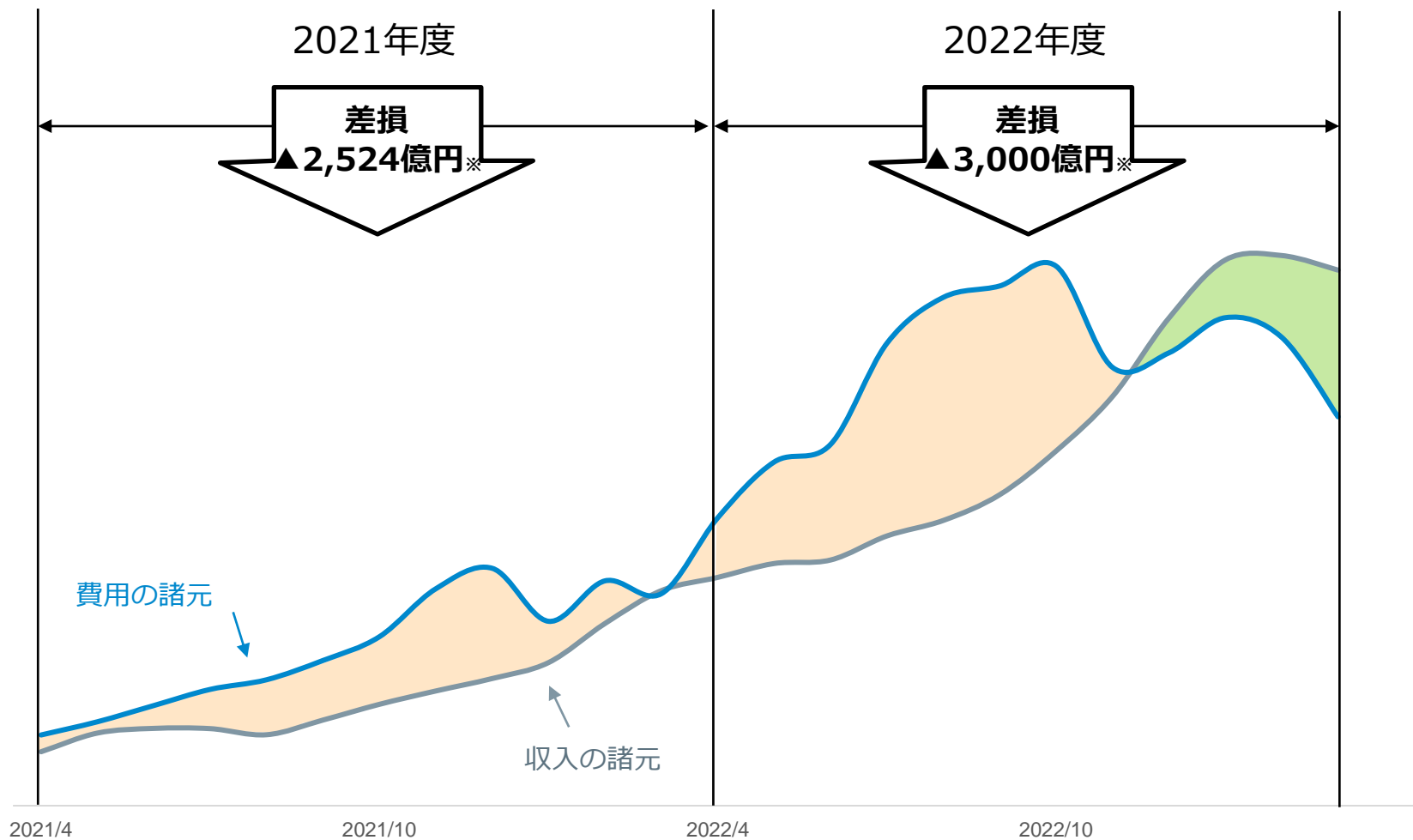
期ずれ影響のイメージ (2021/2Q – 2022/2Q)

- 燃料価格変動の影響を販売価格に反映する燃料費調整の仕組みにおいて、燃料価格の変動を販売価格に反映するまでの「タイムラグ」があるため、期間で区切った際には収支影響が生じる。
- 中長期的には収支影響はニュートラルとなる。



※金額は税引後

期ずれ影響のイメージ (通期見通し)



*金額は税引後

販売電力量・発電電力量の推移

【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2022年度	579	699			1,278
2021年度	537	646	649	723	2,555

【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2022年度	528	635			1,163
LNG	417 (79%)	470 (74%)			887 (76%)
石炭	112 (21%)	165 (26%)			277 (24%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)			0 (0%)
2021年度	534	617	623	699	2,473
LNG	412 (77%)	468 (76%)	484 (78%)	558 (80%)	1,923 (78%)
石炭	122 (23%)	149 (24%)	138 (22%)	141 (20%)	550 (22%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

格付取得状況

【発行体格付けの推移】

